

令和元年度 自己評価報告書

令和元年 11 月 20 日
名古屋栄養専門学校

教育理念・目標

総括	改善策
<p>本校の教育理念・目標は学則第 3 条に「教育基本法の本質に則り、学校教育法に従い、現代社会の要請に応じ栄養士としての業務遂行に必要な知識及び技能を教授し、実力ある職業人としての栄養士を養成する」と記載がある通りである。1982 年開校以来、調理力のある栄養士の養成を目指し、また実際に社会の要請に応じてきた。</p> <p>技術のみでなく、即戦力のあるプロとしての人材育成にも努力してきたが、昨今学生も多様化し、きめの細かい指導が必要となった背景も現実として存在する。</p>	<p>本校に理念については学則に定め、パンフレット等で周知をしているが、さらにホームページ、ライン等を通じ広く周知していく必要がある。</p> <p>また、学生の多様化については、必要に応じて補講を実施するなど決めの細かい対応によって改善を図る。</p>

以下各項目別の評定は 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
学校の理念・目的・育成 人材像は定められている か。(専門分野の特性が 明確になっているか)	4	明確に定めている。	学則とパンフレットに定めてい る	特になし	学則、パンフレット
学校における職業教育 の特色は何か	4	調理力、パソコンスキル、 献立作成能力のある栄 養士を育成する教育	グループで行うため能力の低 い学生のサポートに限界があ る	適宜グループ変えを行う。夏 休みに補講を行う	シラバス
社会経済のニーズを踏ま えた学校の将来構想を 抱いているか	4	調理力のある栄養士の 育成のニーズにこたえて いる	ニーズの把握、ニーズに対応 できているかを評価、新しい 職場の開発に務める	企業とのコミュニケーションを 密にする。教育課程編成委員 会でのディスカッションを深め る	シラバス、教育課 程編成委員会規 程
学校の理念・目的・育成 人材像・特色・将来構想 などが学生・保護者等に 周知されているか	3	入学時のオリエンテーシ ョン、保護者会等あらゆる 機会を通して周知してい る	より積極的に周知する	さらにわかりやすく積極的に 周知するため、ホームページ の改善に普段からつとめる	パンフレット、ホー ムページ

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3	調理力、献立作成能力のある栄養士の育成に向けられている	業界のニーズを常に的確に把握する必要がある。能力の見える化を図ることが必要	家庭料理技能検定の充実を図る。教育課程編成委員会を充実させる	シラバス、教育課程編成委員会規程

学校運営

総括	改善策
<p>本校の教育理念に基づいて適切な学校運営がなされているが、随時見直しが必要である。学内での意思決定についても、定期的に職員会議を実施し、コミュニケーションを図っている。また、校内で行われる様々な学校行事についても、ホームページに公開し、積極的に情報公開を行っている。</p>	<p>職員会議についてはマンネリにならないような工夫が必要であり、職員が常に様々な課題、改善策に取り組む雰囲気を作っていく必要がある。</p> <p>情報公開については、行事ごとに担当者をきめ、責任をもって公開するような流れを作っている。</p>

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
目的に沿った運営方針が策定されているか	4	運営方針は明確に策定されている	毎年の見直しが必要	事業計画を立てるときに説明する	年間予定表
運営方針に沿った授業計画が策定されているか	4	運営方針に沿った授業計画を策定している	運営方針により毎年の見直しが必要	特になし	シラバス
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか。有効に機能しているか	4	定期的な職員会議を開催し意思決定を行っている	規則等での明確化はされていない	組織運営についての文書化を図る	学則
人事・給与に関する規定等は整備されているか	4	整備されている	特になし	特になし	就業規則
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	法人の理事会、評議委員会で行われている	特になし	特になし	理事会・評議員会議事録

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
教育活動等に対する情報公開が適切になされているか	4	シラバス・ホームページにより適切になされている	常に更新することが必要	ホームページ担当者を定める	
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	情報システムの担当者を配属し、学内 LAN により集中管理して効率化を図っている	システムの改良、更新が必要	システム改善	

教育活動

総括	改善策
<p>本校の教育理念である、調理力、献立作成能力を中心として社会での即戦力となれる栄養士の養成を実現するための、カリキュラムが編成されている。カリキュラム外の教育活動として、土曜講座、キャリアアップ講座などを通年開講し、さらなる実力アップに取り組んでいる。</p> <p>また、調理力を客観的に評価する手段として家庭料理技能検定を積極的に活用している。本校は試験実施校として認定を受けているため、毎回多くの学生が受験している。</p> <p>パソコンスキルに関しては15人編成の小規模な授業運営を行い、きめの細かい指導を実施し、パソコン操作が苦手な学生に対しても十分指導できる体制を整えている。</p>	<p>カリキュラム編成については社会のニーズに応え、随時、見直していく必要がある。外部からの意見を積極的に採り入れるため、学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等を開催し、実際に現場で求められている栄養士の能力を今一度明確にし、カリキュラム編成に役立たせていくことが必要と思われる。</p> <p>具体的なカリキュラム編成として、1、2年生全員が授業のない時間帯をつくり、課外活動として、オープンキャンパスの試作や打合せの他、フードサービス実習の時間内にできない活動を希望者に行うにこととした。</p> <p>料理検定については毎年一定の結果を残しているが、さらに合格率を上げるため、対策授業を実施している。</p>

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
教育理念に沿った教育課題の育成・実施方針等が策定されているか	4	策定されている	随時見直しが必要	特になし	シラバス
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3	明確にされている	業界のニーズを的確に把握すること	教育課程編成委員会を実施	シラバス、教育課程編成委員会規程
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	編成されている	随時見直しが必要	教育課程編成委員会を実施	シラバス、教育課程編成委員会規程
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	実施している	随時見直しが必要	教育課程編成委員会を実施	シラバス、教育課程編成委員会規程

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
関連分野の企業・関係施設等業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われているか	3	実施している	業界とのコミュニケーションを密にする。随時見直しが必要	教育課程編成委員会を実施	シラバス、教育課程編成委員会規程
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3	体型的位置づけられている	業界とのコミュニケーションを密にする。随時見直しが必要	教育課程編成委員会を実施	シラバス、教育課程編成委員会規程
授業評価の実施・評価体制はあるか	3	学生による授業評価を実施している	授業アンケートに基づき教育方法を検討していく	授業に問題があれば個別に対応していく	
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	校外実習での評価により職業教育を充実させている	評価方法を改善していく	教育課程編成委員会を実施	教育課程編成委員会規定

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
成績評価・単位認定、進級、卒業判定の基準は明確になっているか	4	明確になっている	基準の見直しが必要	特になし	学則、シラバス
資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中での体型的な位置づけはあるか	4	栄養士以外の資格として、家庭料理技能検定資格取得をめざしており、調理実習等の体型的な位置づけを行っている	取得率を上げる	適宜補講を実施	年間予定表
人材育成目標の到達に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	栄養士法に準拠して確保している	さらに教員の養成が必要	研修への参加	研修に関する規定
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	努力している	業界との連携が必要	業界とのコミュニケーションを密にし、人材を探す努力をする	

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
関連分野における先端 的な知識・技能等を習得 するための研修や教員 指導力育成など資質 向上のための取組が行 われているか	3	行っている	対象の教員が偏らないように する	研修への積極的な参加	研修に関する規定
職員の能力開発のため の研修等が行われている か	3	行っている	対象の職員が偏らないように する	研修への積極的な参加	研修に関する規定

学修成果

総括	改善策
<p>就職率はここ数年 98.2%、97.3%、98.4%と毎年 100%近い結果を残している。1 年後期から 2 年の前期にかけて就職講座を実施し、就職に関する基本的な心構えから履歴書の書き方、面接練習など、個別にきめの細かい指導を実施している。毎年年度初めには企業懇談会を実施し、就職先となり得る企業の担当者の方に会社の理念や必要としている人材像をはなしてもらい、個別に会社側との面談を実施している。約 30 社からの参加があり、就職活動を開始する学生にとって、企業側の担当者と話しができるよい機会となっている。</p> <p>管理栄養士の道は厳しいが、毎年 30 名ほどの卒業生がチャレンジしている。毎年土曜日に管理栄養士講座を実施し、一人でも多く管理栄養士試験合格者を出すための努力をしている。</p>	<p>企業懇談会は、多くの学生にとって就職を意識した最初の機会であり、今後充実させていく必要がある。学生に対しては希望企業だけではなく、幅広く企業研究をする機会ととらえ、仕事に対する心構えを構築する機会としなければならない。</p> <p>栄養士養成施設卒業者にとって、管理栄養士の道は閉ざされていないので、できるだけチャレンジしてほしい資格である。そのため、土曜講座のみでなく、平日に時間の都合がつかう場合は、個別対応を行っていく。意識の高い者だけでなく、管理栄養士を一人でも多く輩出するために同窓会名簿の整備にも常に取り組んでいく必要がある。</p>

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
就職率の向上が図られているか	4	専任の担当者を置き、就職率の向上を図っている	学生のモチベーションの向上	学生とのコミュニケーションを密にする	学則、パンフレット
資格取得率の向上が図られているか	4	栄養士以外の資格として家庭料理技能検定資格を目指しており、所得率の向上を図っている	さらに取得率の向上を目指す	対策講座の実施	年間予定表
退学率の低減が図られているか	4	担任制度により、出席状況を常に把握し退学の低減を図っている	欠席日数の把握	欠席の多い学生にこまめに連絡をとる	出席簿
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	就職活動報告会などで把握している	卒業生との連絡が途切れないようにする	卒業生のネットワークを広げる、同窓会活動の活性化	同窓会名簿

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	卒業生による特別調理実習実施することなど活用している	卒業生との連絡がとれるよう準備する	卒業生のキャリア形成を幅広く把握する。同窓会活動の活性化	同窓会名簿

学生支援

総括	改善策
<p>就職については、就職担当、担任、教務主任が個別に対応し、学生一人ひとりの希望や個性を大切にしながら、きめの細かい指導を行っている。</p> <p>経済的な問題に対しては奨学金、教育ローンなどの紹介を行っている。</p> <p>欠席が多くなった学生には早めに対応し、サポート体制をとっているが、必要に応じて保護者にも連絡し、生活面からのサポートの改善を心がけている。</p> <p>卒業生に対しては、管理栄養士受験講座を開催し、一人でも多くの管理栄養士国家試験を合格できるような体制をとっている。</p>	<p>学生自らが援助を求めてこない場合は、学生の悩みに気づくことが遅れがちになる。限界があるが、普段から様々な機会を捉え学生の動向を把握しておく必要がある。少なくともサポート体制について、学生がよく理解できるように周知しなければならない。</p> <p>令和元年9月に、「大学等における修学の支援に関する法律」に基づいた認定校となった。このことにより経済的な事情により学ぶ機会が与えられなかった学生に、授業料の減免、給付型の初学金制度の適用がなされることとなった。</p>

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	専任の担当者を置き整備している	マンパワーが不足している	体制の効率化を図る	パンフレット、学生便覧
学生相談に関する体制は整備されているか	3	担任を置き整備している	時に専門家が必要		パンフレット、学生便覧
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	奨学金、専門実践教育訓練給付金制度などで対応している	特になし	特になし	パンフレット、学生便覧
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	念1回健康診断を行っている	保健室はあるが常駐の医療職がない	近くのクリニックで対応	
学生の生活環境への支援は行われているか	4	学生会館の紹介により行っている	特になし	学生をよく観察する	

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
保護者と適切に連携しているか	4	担任により適宜連携している	保護者会の個別相談の充実	学園祭などの機会に来校を促す	ホームページ
卒業生への支援体制はあるか	3	管理栄養士国家試験受験講座の実施、就職のあっせんにより実施している	卒業生の住所確認が必要	ホームページの活用、同窓会の活性化	ホームページ
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	個別対応を実施している	特になし	特になし	
高校・高等専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2	一部の高等学校と連携し職業教育を行っている	高校数を増やす	内容を充実させる	

教育環境

総括	改善策
<p>調理実習ができる実習室が IH 仕様とガス仕様の 2 部屋、集団給食の実習ができる実習室が 1 部屋整備されており、どれも最新の設備を導入している。</p> <p>また、講義室は 3 つあり、実際の授業は 30 人体制で行い、講義時間でも学生一人ひとりに目が届く状態で実施できている。</p> <p>パソコンに関してはバージョンアップを行った。</p>	<p>講義室、実習室はほぼ目的を達する状態で整備されているが、自習室、図書室については若干手狭である。学生がディスカッションしながら媒体を作成できるような部屋の整備が望まれる。</p>

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	整備されている	最新設備対応が遅れる	できるだけ最新設備を整備する	
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	実習先の協力を得、整備している	実習先及び学校側のお互いのニーズが一致しないことがある	実習先との打合せを実施	
防災に関する体制は整備されているか	4	整備されている	意識の向上が必要	機会を捉え意識の向上を促す	

学生の受入れ募集

総括	改善策
<p>学生募集は年次計画に基づき適切に実施している。年間23回のオープンキャンパスを実施し、学校紹介、授業紹介のみでなく、体験学習として調理実習を行い、本校の特徴について受験生がよく理解できるような工夫をしている。参加者に対してはLINE登録をしてもらい、学校からのお知らせやミニ知識を発信している。</p> <p>進路相談会については積極的に参加し、学生募集につながるような努力をしている。</p> <p>また、ネットを利用したリスティング広告を実施し、高校生のみでなく社会人に対しても本校の良さを周知できるきっかけを作っている。</p> <p>高校訪問では、在校生のコンピューターの授業の一貫として、専門学校の紹介レポートを作成してもらい、出身校を中心に就職が決まったこと等の報告も兼ねて、訪問時にレポートを持参している。</p>	<p>18歳人口の減少に加え、4年制大学で管理栄養士国家試験受験資格を得る流れが大きく、専門学校の学生募集は厳しい状況にさらされている。しかし、一定の応募者は毎年あり、入学生の多くは、大学へ行けないからではなく、積極的に専門学校を選択している傾向が強い。幸い栄養士から管理栄養士への道は開かれており、専門学校で栄養士としてのスキル、調理の技術、現場経験を積んだ上で管理栄養士になろうとしている学生も多く見受けられる。そのため、卒業後のフォロー体制が重要になっており、継続性のある体制をとっていくことが必要である。</p> <p>高校の反応としては、進学校では難しい面もあるが、商業高校、工業高校などでは、確実に職業に結び付いている本校への入学は意義あるものと思われる。</p>

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	3	学校訪問により実施している	情報を充実させることが必要	学生が情報処理演習の中で作成した、広報用の資料を職員が挨拶を兼ねて、出身校へ出向く	入学案内
学生募集活動は、適性に行われているか	4	オープンキャンパス、入学相談会、高校訪問等により実施	学生数の減少	特になし	入学案内
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	オープンキャンパス等により実施	学生により異なる	事前打ち合わせを充実させる	入学案内
学納金は妥当なものとなっているか	4	妥当と考えられる	特になし	特になし	

財務

総括	改善策
<p>中西学園としての財務基盤は安定しているが、専門学校としては安定しているとはいえない。</p> <p>18歳人口の減少に加え、4年制大学への流れにより、学生数の増加はなかなか見込めないのが現状である。</p>	<p>社会人の応募者を増加させることが求められる。栄養士として就職に結びつくことはもちろん大切であるが、栄養についての勉強、調理の技術を身につけることは自分自身や家族の健康にとって非常に大切であることから、社会人に対して本校で学ぶ意義を周知していくことが必要である。</p>

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
中長期的に学校の基盤は安定しているといえるか	4	安定している	特になし	特になし	
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	妥当である	特になし	特になし	
財務について会計監査が適性に行われているか	4	適性に行われている	特になし	特になし	
財務情報公開の体制整備はできているか	4	整備はできている	特になし	特になし	

法令等の遵守

総括	改善策
<p>栄養士養成施設設置基準、専修学校設置基準等の法令、及び学内の規定を遵守しており、健全な学校運営を行っている。</p>	<p>ふだんの授業では、身近に意識できない面もあるため、本校職員に対して、会議等の機会を利用し、様々な規則を周知しておく必要がある。</p>

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	適正な運営がなされている	特になし	特になし	
個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4	常時注意し、保護のための対策が取られている	特になし	特になし	
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	行っている	随時見直しが必要	特になし	
自己評価結果を公表しているか	4	ホームページで行っている	随時見直しが必要	特になし	

国際交流

総括	改善策
<p>毎年、数名の留学生が入学している。中国、台湾からの留学生が多い。ときに 意思疎通がうまくいかない場面があるが、担任を通じて丁寧に対応している。</p>	<p>留学生は概して、目的意識が明確であり、新卒の学生の手本になることが多い。留学生の受入れに特に積極的というわけではないが、他の学生にとってはよい刺激となっている。</p>

評価項目	評価	現状	課題	改善策	参考資料
留学生の受入れ・派遣、 在籍管理において適切 な手続き等がとられてい るか	4	適切に対応している	特になし	特になし	
留学生の学習・生活指導 等について学内に適切 な体制が整備されてい るか	4	整備されている	特になし	特になし	